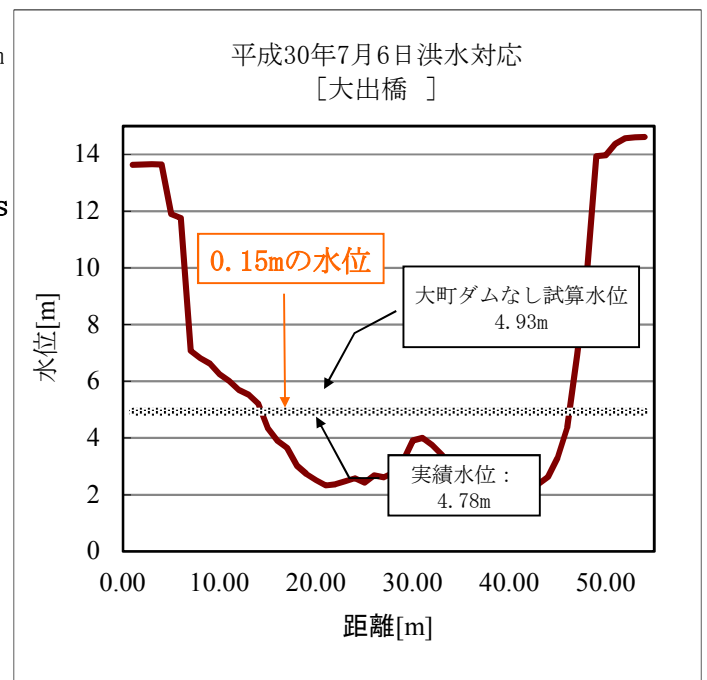
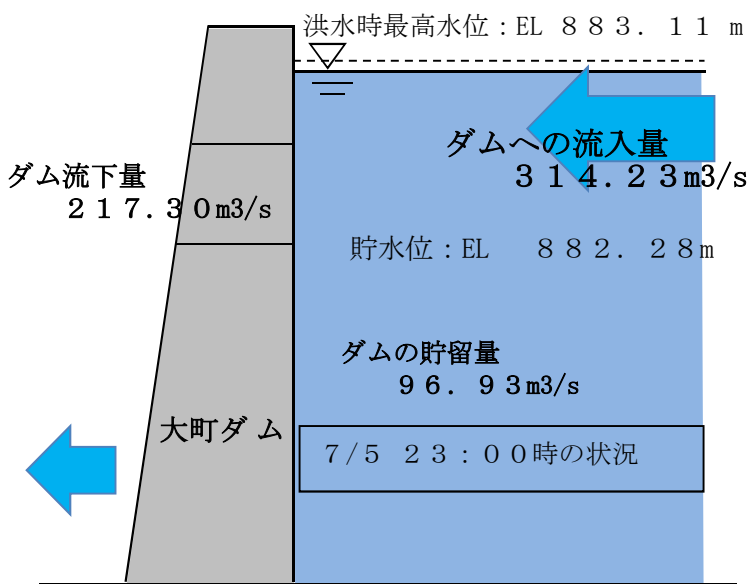




大町ダムの洪水貯留の効果 (平成30年7月5日 出水)

大町ダムでは、5日17時50分から、6日2時20分まで上流から流れ込む水をダムへため込む防災操作を行いました。今回の出水で流入量約910万 m^3 のうち約210万 m^3 をダムで貯留し、下流河川の急激な増水を緩和しました。その結果、大町ダム下流の大出橋地点で**最大0.15mの水位を低下**させることができたと推測されます。



今回の出水では、安曇橋左岸上流（県管理）の護岸欠損が確認されました。大町ダムでは大町建設事務所と安曇野市役所からの要請を受けて、下流への放流量を抑制して、復旧工事に協力しました。